

## NGO 相談員出張サービス実施報告書

2. 企画名：講演会 「児童労働」（6年生）、「水から世界を知ろう」（5年生）
2. 実施者：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 松本謡子
3. 日時：平成29年1月20日（金）10:45-14:30
4. 場所：名古屋市立八幡小学校 愛知県名古屋市立中川区八熊通5-4
5. 参加者：小学5年生97名、6年生105名、教諭7名
6. 実施報告：

NGO相談員として、6年生105名を対象に「児童労働」をテーマに動画と写真で現状や日本とのつながりを紹介し、ワークシートを使用し物売りの少女にどのような行動を取るか意見交換を行った。また、児童労働の根本的な問題解決のために必要なことや日本に住む私たちにできること、やりたいことを話し合った。5年生の授業では、97名を対象に「水から世界を知ろう」と題して水衛生に関する途上国の子どもたちの現状を動画と写真で紹介し、体験活動として水汲み体験を行った。さらに、ワークブック「ルワンダに住むエリックくん」とワークブック「水から世界を知ろう」を配布し、安全な水の重要性と水衛生課題を抱える子どもたちや人々に理解を深めることができた。5、6年生ともに最後に質疑応答の時間を設け、水衛生支援の内容や水汲みによる子どもたちへの影響について等の質問が寄せられた。

### 7. 所感：

児童労働の現状として、教育の機会を奪われ働くことを余儀なくされている子どもたちの現状を紹介し、予想以上の驚きや共感の声が寄せられた。学校を辞めて物売りをする子どものケースを動画で紹介してから代表生徒に役割カードを使ったロールプレイを実施してもらい、児童労働をしている子どもの気持ちをワークシートに書き出した。「学校をやめなくちゃいけないのがくやしい」「食べ物わけてもらいに行くのは、はずかしい。つらい」等、年齢も近い当事者に寄り添うコメントが多数あった。また、「今まで募金は何に使われているかわからなかったからしなかったけど、この授業できびしい生活をしている人がいることを知ったから、これからは募金したい」「ふつうの暮らしができること自体がしあわせなんだと思った」等の感想も寄せられ、今後の国際協力への積極的な姿勢や自分が置かれている状況をふり返るきっかけとしてくれた様子が見受けられた。

8. 別添（写真）左：6年生は体育館にて、右：5年生は多目的室にて授業を実施。

